

謝辞

本研究の着手時に、豊橋技術科学大学教授 齊藤大樹先生には研究の方向を定める上で、有益なご助言をいただきました。ここに記し、深く感謝の意を表します。

本研究は極めて多数の先行研究の成果を踏まえております。本資料には、建築研究所が推進した補強組積造 (RM) 建築の開発研究の成果が多数引用されています。日米における多数の研究機関の協力を得たことを記し、深謝の意を表します。また、メキシコ国立自治大学 (UNAM)、メキシコ国立防災センター (CENAPRED)、日本ペルー地震防災センター (CISMID) からは、多数の研究論文及び実験データをご提供いただきましたことを記し、深謝の意を表します。

国内においては、以下の諸先生方のご発表論文を通じて、実験結果を引用させていただきました。以下にご高名を挙げ、深謝の意を表します。北海道大学名誉教授 城攻先生、北海道大学教授 後藤康明先生、東北大学教授 前田匡樹先生、東京大学教授 中埜良昭先生、明治大学名誉教授 平石久廣先生、神奈川大学名誉教授 松村晃先生、中部大学教授 勅使川原正臣先生、京都大学名誉教授 故 若林實先生、大阪大学教授 眞田靖士先生、大分大学教授 故 吉村浩二先生、大分大学名誉教授 菊池健児先生、大分大学教授 黒木正幸先生、九州大学名誉教授 故 富井政英先生。

本資料で用いた鉄筋コンクリート造 (RC) 壁のデータでは、国立研究開発法人建築研究所内に設置された RC 部材のデータベースを用いた検討委員会によってとりまとめられた、「鉄筋コンクリート造構造実験データベースを用いた試験体検索システム」

(URL: https://www.kenken.go.jp/japanese/research/str/rc_str_expdb.html)

を利用いたしました。ここに記して謝意を表します。